

「特別養護老人ホーム神田の里」重要事項説明書

当施設は介護保険法に基づく指定を受けています。
(寝屋川市指定 第2790300178号)

当施設は契約者に対して地域密着型介護福祉施設サービス(以下「サービス」という。)を提供します。
施設の概要や提供されるサービスの内容、契約上ご注意くださいことを次の通り説明します。

※当施設への入居は、原則として要介護認定の結果要介護3以上と認定された方のうち、居宅において日常生活を営むことが困難な方が対象となります。

◆◆目次◆◆

1.	施設経営法人	2
2.	ご利用施設	2
3.	居室の概要	3
4.	職員の配置状況	4
5.	当施設が提供するサービスと利用料金	5
6.	施設を退居していただく場合(契約の終了について)	11
7.	残置物引取人	13
8.	苦情の受付について	14
9.	非常災害対策	15
10.	緊急時等の対応	15
11.	事故発生時の対応	15
12.	重要事項説明書付属文書	16
13.	提供するサービスの第三者評価の実地状況について	20

1. 施設経営法人

- | | |
|----------|----------------|
| (1)法人名 | 社会福祉法人いわき会 |
| (2)法人所在地 | 大阪府寝屋川市高柳一丁目1番 |
| (3)電話番号 | 072-828-0888 |
| (4)代表者氏名 | 理事長 南 桂子 |
| (5)設立年月 | 平成19年7月31日 |

2. ご利用施設

- | | |
|-------------|--|
| (1)施設の概要 | 当施設は寝屋川市から指定を受けた特別養護老人ホーム(平成24年4月1日指定2790300178、特別養護老人ホーム和の里を本体施設としたサテライト型の地域密着型介護老人福祉施設)で、寝屋川市民の方がご利用できます。 |
| (2)事業の目的 | 社会福祉法人いわき会が設置する指定地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護特別養護老人ホーム神田の里(以下「施設」という。)の適正な運営を確保するために必要な人員及び運営管理に関する事項を定め、指定地域密着型介護老人福祉施設の円滑な運営管理を図るとともに、入居者の意思及び人格を尊重し、入居者の立場に立った適切な指定地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護サービスを提供することを目的とする。 |
| (3)施設の名称 | 特別養護老人ホーム神田の里 |
| (4)施設の所在地 | 大阪府寝屋川市上神田一丁目31番1号 |
| (5)電話番号 | 072-826-2800 |
| (6)施設長(管理者) | 氏名 竹本 憲司 |
| (7)当施設の運営方針 | 施設は、施設サービス計画に基づき、可能な限り、居宅における生活への復帰を念頭に置いて、入居前の居宅における生活と入居後の生活が連続したものとなるよう配慮しながら、各ユニットにおいて入居者が相互に社会的関係を築き、自律的な日常生活を営むことを支援するものとする。
2 施設は、入居者の意思及び人格を尊重し、常にその者の立場に立って指定地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護サービスを提供するよう努めるものとする。
3 施設は、地域や家庭との結びつきを重視した運営を行い、市町村、居宅介護支援事業者、居宅サービス事業者、他の介護保険施設その他の保健医療サービス又は福祉サービスを提供する者との密接な連携に努めるものとする。
4 前3項のほか、「寝屋川市指定居宅サービス事業者等の指定並びに指定居宅サービス等の事業等の人員、設備及び運営等に関する基準を定める条例」(平成30年寝屋川市条例第55号)に定める内容を遵守し、事業を実施するものとする。 |
| (8)開設年月 | 平成24年4月1日 |
| (9)入居定員 | 29人 |

3.居室の概要

(1)建物の概要

建物	構造	延床面積
	重量鉄骨4階建	1,276.04㎡
利用定員	29名	
建築面積	323.18㎡	

(2)居室等の概要

当施設では居室は全室個室になっております。

1階	事務室	1室	
	相談室	1室	
	地域交流室	1室	
	医務室	1室	
	特浴室	1室	機械浴設備
	調理室	1室	
	トイレ	3室	多機能トイレ1室
2階～4階(ユニット)	居室	29室(2階10室、3階10室、4階9室)	各居室に洗面台、タンス設置
	共同生活室	各階1室	キッチン、テレビ、手洗い
	トイレ	各階3室	車椅子対応可、手すりつき
	浴室	各階1室	一般浴

※以上は、ユニット型指定地域密着型介護老人福祉施設の設備等です。

☆居室の変更：契約者から居室の変更希望の申し出があった場合は、居室の空き状況により施設でその可否を決定します。また、契約者の心身の状況により居室を変更する場合があります。その際には、契約者や家族等と協議のうえ決定するものとします。

4.職員の配置状況

当施設では、契約者に対してサービスを提供する職員として、以下の職種の職員を配置しています。

<主な職員の配置状況>

※職員の配置については、指定基準を遵守しています。 令和6年 8月 1日現在

従業者の職種	常勤	非常勤	職務の内容
1. 施設長 2. (管理者)	1人	0人	職員を指揮監督し、業務の実施状況の把握と事業の管理を一元的に行うものとします。
2.嘱託医師		1人	施設内診療において、利用者の健康管理に対する措置及び療養上の指導等を行うものとします。
3.生活相談員	1人	0人	利用者又はその家族からの相談に対する対応及び必要な援助・指導等を行い、サービス上の連絡調整に従事するものとします。
4.看護職員	1人	3人	利用者の健康状態を把握し、配置医師等の指示により、利用者の健康維持のための必要な看護を行うものとします。
5.介護職員	14人	3人	利用者個々の心身の状態に応じ、可能な限りその自立の支援を念頭に、充実した生活がおくれるよう、日常生活上の介護及び相談・援助を行うものとします。
6.機能訓練指導員		1人	利用者個々の心身の状況を踏まえ、日常生活を営むうえでの必要な機能の改善又は維持及び減退防止のための機能訓練を行うものとします。(1人は看護職員と兼務)
7.介護支援専門員	1人		利用者個々の心身の状況に応じ、地域密着型介護福祉施設サービス計画の作成を行い、実施状況の把握及び計画の見直し・変更を行うものとします。(和の里と兼務)
8.管理栄養士	1人		利用者個々の身体の状態に合った栄養管理・衛生管理等を行うものとします。

<主な職種の勤務体制>

職 種	勤務時間(休憩時間を含む)
1. 管理者 (和の里兼務)	日勤 8:30~17:30 1名
2. 医師	毎週水曜日 17:00~19:00 1名
2. 生活相談員	日勤 9:00~18:00 1名
3. 看護職員	日勤 9:0~18:00 1~3名
4. 介護職員	早出 7:00~16:00 1~2名(1ユニットあたり)
	日勤 9:00~18:00 1~3名(1ユニットあたり)
	日勤A 9:30~18:30 1~3名(1ユニットあたり)
	遅出 13:00~22:00 1~2名(1ユニットあたり)
	夜勤 22:00~8:00 1名(1ユニットあたり)
	その他、利用者の状況に応じて勤務時間を設定いたします。
5.機能訓練指導員	日勤 9:00~18:00のうち数時間 0名~2名
6.介護支援専門員(兼務)	日勤 9:00~18:00 1名
7.管理栄養士	日勤 9:00~18:00 1名

5.当施設が提供するサービスと利用料金

当施設では、契約者に対して以下のサービスを提供します。

当施設が提供するサービスについて、

- | |
|--|
| (1)利用料金が介護保険から給付される場合
(2)利用料金の全額を契約者に負担いただく場合 |
|--|

があります。

(1)利用料金が介護保険から給付される場合(契約書第3条参照)

以下のサービスについては、食事・居住費を除き利用料金の大部分(通常9割)が介護保険から給付されます。

<サービスの概要>

サービスの種類	サービスの内容
1. 食事	管理栄養士が立てた献立により、栄養と利用者の身体の状況に配慮した食事を提供します。ご利用者の自立支援のため離床して各ユニットの共同生活室で食事とっていただくことを原則としています。(概ねの食事時間)朝食7:00~8:30、昼食11:20~13:20、夕食17:20~19:20
2. 入浴	週2回以上の入浴又は清拭を行います。寝たきり等で座位のとれない方は、機械浴での入浴も可能です。
3. 排泄	利用者の状況に応じて、適切な排泄介助を行うとともに、排泄の自立についても適切な援助を行います。
4. 機能訓練	機能訓練指導員により、利用者の心身の状況に適した機能訓練を行い、身体機能の改善・維持及び減退防止に努めます。
5. 離床・着替え・整容等	寝たきり防止のため、できる限り離床に配慮します。生活のリズムを考え、毎朝夕の着替えを行うよう配慮します。個人の尊厳に配慮し、適切な整容が行われるよう援助します。シーツ交換は、週1回行います。
6. 健康管理	利用者の健康管理に努めます。
7. レクリエーション等	適宜利用者のための施設内レクリエーション及び野外レクリエーションを行います。
8. 相談及び援助	利用者とその家族からのご相談に応じます。
9. 金銭等の管理	自らの手による金銭などの管理が困難な場合は、お預かりし管理いたします。お預かりの手続き等は当法人の預かり金管理規定に定められた通りに行います。
10. 行政手続き代行	行政機関への手続きが必要な場合は、ご利用者様や家族の状況によっては代行して行います。

<サービス利用料金(1日あたり)>(契約書第5条参照)

利用料は、原則として厚生労働大臣が定める基準額の1割が自己負担となりますが、利用者負担額減免を受けられている場合は、減免額に応じた自己負担額となります。また、介護保険適用の場合でも、保険料の滞納等により、事業者へ直接介護保険給付が行われない場合がありますが、その場合は、厚生労働大臣が定める基準額の全額をお支払いいただくこととなります。利用料のお支払い後にサービス提供証明書と領収書を発行いたします。なお、サービス提供証明書及び領収書は、後に利用料の償還払いを受ける時に必要となります。

下記の料金表によって、契約者の要介護度に応じたサービス利用料金から介護保険給付費額を除いた金額（自己負担額）をお支払い下さい。（サービスの利用料金は、契約者の要介護度に応じて異なります。）

1割負担

(1日当たり)

	要介護度1	要介護度2	要介護度3	要介護度4	要介護度5
1.契約者の要介護度とサービス利用料金	7,188円	7,968円	8,727円	9,496円	10,234円
2.うち、介護保険から給付される金額	6,469円	7,174円	7,854円	8,546円	9,210円
3.サービス利用に係る自己負担額(1-2)	719円	794円	873円	950円	1,024円

2割負担

(1日当たり)

2.うち、介護保険から給付される金額	5,750円	6,374円	6,981円	7,596円	8,187円
3.サービス利用に係る自己負担額(1-2)	1,438円	1,594円	1,746円	1,900円	2,047円

3割負担

(1日当たり)

2.うち、介護保険から給付される金額	5,031円	5,577円	6,108円	6,647円	7,163円
3.サービス利用に係る自己負担額(1-2)	2,157円	2,391円	2,619円	2,849円	3,071円

その他の介護保険給付サービスに該当した場合は加算されます。

《指定地域密着型介護老人福祉施設利用加算料金》（カッコ内は2割負担）

加算項目	自己負担額	加算及び算定の内容
サービス提供体制強化加算(Ⅱ)	7円 (13円)	看護・介護職員の総数のうち常勤職員の占める割合が100分の75以上の場合の1日当りの加算料金です。
日常生活継続支援加算(Ⅱ)	49円 (97円)	重度の要介護者や認知症の入居者が多く占める施設において介護福祉士資格を有する職員を手厚く配置した場合の1日当りの加算料金です。
個別機能訓練加算	13円 (26円)	入居者ごとに個別機能訓練計画を作成し、計画的に機能訓練をした場合の1日当りの加算料金です。
初期加算	32円 (64円)	入所後30日間に限り1日当りの加算料金です。
退所前訪問相談援助加算	485円 (970円)	入所期間が1月を超えると見込まれる入所者の退所に先立って居宅を訪問し、退所後のサービスについて相談援助の1回当りの加算料金です。
退所後訪問相談援助加算	485円 (970円)	退所後30日以内に当該入居者の居宅を訪問し、相談援助を行った場合に、退所後1回を限度に算定する加算料金です。
退所時相談援助加算	422円 (844円)	退所時に市町村及び居宅介護支援事業者及び地域包括支援センターに対して情報提供をした場合の1回当りの加算料金です。
退所前連携加算	527円 (1054円)	退所後30日以内に当該入居者の居宅を訪問し、相談援助を行った場合に、退所後1回を限度に算定する加算料金です。
看護体制加算(Ⅰ)イ	13円 (26円)	常勤の看護師を1名以上配置している場合の1日当りの加算料金です。
看護体制加算(Ⅱ)イ	25円 (49円)	常勤の看護師を2名以上配置している場合の1日当りの加算料金です。
夜勤職員配置加算(Ⅱ)イ	49円 (97円)	夜勤を行う介護職員の数が、最低基準を1以上上回っている場合の1日当りの加算料金です。

栄養マネジメント強化加算	12円 (24円)	低栄養状態のリスクが高い入所者に対し、専門職が共同して作成した栄養ケア計画に従い週3回以上観察し調整をおこなう。入所者ごとの栄養状態等の情報を厚生労働省に提出し継続的な栄養管理の実地に当って必要な情報を活用している。1日当りの加算料金です。	
口腔衛生管理加算(Ⅰ)	95円 (190円)	歯科医師又は歯科医師の指示を受けた歯科衛生士が、介護職員に対する口腔ケアを月2回以上行うこと。歯科衛生士が、介護職員に対して口腔ケアの具体的な技術的助言 指導 相談の対応を行う	
口腔衛生管理加算(Ⅱ)	116円 (232円)	加算(Ⅰ)の要件に加え、口腔衛生等の管理に係る計画の内容等の情報を厚生労働省に提出し活用していること	
療養食加算	7円/回 (13円)	食事提供が管理栄養士によって管理されており、適切な栄養量及び内容で提供されている場合の1回当りの加算料金です。※経口移行加算又は経口維持加算を受ける場合は算定しない。	
若年性認知症入所者受入加算	127円 (253円)	施設基準を満たしたうえで若年性認知症入所者を受け入れた場合の1日当りの加算料金です。	
経口維持加算(Ⅰ)	422円 (844円)	著しい誤嚥が認められる利用者 (造影撮影又は内視鏡検査による)	摂取機能障害を有し、誤嚥が認められる利用者において、医師の指示に基づき多職種共同で利用者毎に経口による継続的な食事の摂取を進めるための経口維持計画を作成し、医師の指示を受けた管理栄養士又は栄養士が栄養管理を行った場合の1月当りの加算料金です。(計画作成日の属する月から起算して6月以内の期間に限る)
経口維持加算(Ⅱ)	106円 (211円)	誤嚥が認められる利用者	
経口移行加算	30円 (59円)	医師の指示の基づき経口移行計画を作成し栄養管理を行った場合の1日当りの加算料金です。	
看取り介護(Ⅰ) 死亡日45～31日前	76円 (152円)	施設基準を満たしたうえで専門的な認知症ケアを行った場合の1日当りの加算料金です。	
看取り介護加算(Ⅰ) 死亡日30～4日前	152円 (304円)		
看取り介護加算(Ⅰ) (死亡日前々日、前日)	717円 (1434円)		
看取り介護加算(Ⅰ) (死亡日)	1,350円 (2699円)		
認知症専門ケア加算(Ⅰ)	4円 (7円)	施設基準を満たしたうえで専門的な認知症ケアを行った場合の1日当りの加算料金です。	
在宅復帰支援機能加算	11円 (21円)	入所者の家族と連絡調整を行い入所者が希望する指定居宅介護支援事業者に対し必要な情報の提供と居宅サービスの調整を行った場合の1日当りの加算料金です。	
在宅・入所相互利用加算	43円 (85円)	在宅生活を継続する観点から、複数人があらかじめ在宅期間及び入所期間(3月を限度)を定めて、当該施設の同一の個室を計画的に利用している者(要介護3～5)	
認知症行動・心理症状緊急 対応加算	211円 (422円)	医師が、認知症の行動・心理症状が認められると判断し、緊急に入所した場合(7日を限度)の1日当りの加算料金です。	
専従の常勤医師を配置 している場合	27円 (53円)	専従の常勤医師を配置している場合	
精神科医療養指導加算	6円 (11円)	精神科医師による療養指導が月2回以上行われている場合	
障害者生活支援体制加算	28円 (55円)	障害のある入所者の数が15名以上であり障害者生活支援員を常勤で1名以上配置した場合	
排せつ支援加算	106円/月 (211円)	排せつに介護を要する利用者のうち、その原因等について分析し、分析結果に対して支援計画及び支援を実施する場合	

褥瘡マネジメント加算	11円/月 (21円)	入所者の褥瘡予防のため、その要因を定期的に評価し、計画的に管理を実施する場合
低栄養リスク改善加算	317円/月 (633円)	入所者に対して低栄養状態を改善するための計画を作成し、低栄養リスクを改善する場合
再入所時栄養連携加算	422円/月 (844円)	入所者が入院し、入所時と異なる栄養管理が必要となった場合、当該医療機関の管理栄養士と連携して栄養管理調整を行う場合
科学的介護推進体制加算(1)	42円/月 (85円)	入所者の、ADL値 栄養状態 口腔機能 認知症の状況その他の入所者の心身の状況等に係る基本的情報を、厚生労働省に提出していること
介護職員処遇改善加算(1)		該当するユニット型地域密着型介護福祉施設サービス費と加算により算定した単位数の1,000分の140が1月当りの加算料金です。
生産性向上推進体制加算	11円 (21円) <32円>	入居者の安全並びに介護サービスの質の確保及び職員の負担軽減の方策を検討する委員会を開催。生産性向上の改善活動を継続的に行い、1年ごとに1回、業務改善による効果データの提供を提出している場合の1月の加算料金です。
協力医療機関連携加算 令和7年7月31日まで	106円 (211円) <317円>	協力医療機関と入居者の病歴などの情報を共有し、会議を定期的で開催する。 また、入居者の症状が急変した場合は、医師又は看護職員が相談、対応、体制
協力医療機関連携加算 令和7年4月1日以降	53円 (106円) <159円>	などを常時確保し、診療、入院などを要する入居者を原則受け入れる体制を確保している場合の1月の加算料金です。

☆契約者がまだ要介護認定を受けていない場合には、サービス利用料金の全額をいったんお支払いいただきます。要介護の認定を受けた後、自己負担額を除く金額が介護保険から払い戻されます(償還払い)。償還払いとなる場合、契約者が保険給付の申請を行うために必要となる事項を記載した「サービス提供証明書」を交付します。介護保険からの給付額に変更があった場合、変更された額に合わせて、契約者の負担額を変更します。

☆契約者が、6日以内(月をまたぐ場合は最大12日以内)の入院又は外泊をされた場合にお支払いいただく1日あたりの利用料金は、下記の通りです。(契約書第18条、第21条参照)

(1割負担の場合)	
1.サービス利用料金	2,592円
2.うち、介護保険から給付される金額	2,332円
3.自己負担額(1-2)	260円
(2割負担の場合)	
2.うち、介護保険から給付される金額	2,073円
3.自己負担額(1-2)	519円

(2)利用料金の全額を契約者に負担いただく場合(契約書第4条、第5条参照)

以下のサービスは、利用料金の全額が契約者の負担となります。<サービスの概要と利用料金>

- ① 食事の提供に要する費用 1,543円/日
- ② 居住に要する費用 ユニット型個室 2,700円/日

※上記①及び②について、介護保険法施行規則第83条の6規定により、介護保険負担限度額認定証の交付を受けた者にとっては、当該認定証に記載されている負担限度額とします。

利用者負担段階	食費	居住費
第1段階	300円	880円
第2段階	390円	880円
第3段階	① 650円	1,370円
	② 1,360円	

※入院外泊時の居住費については、下記の通りご負担いただきます。

6日間	負担限度額
7日間以上	2,700円

ただし、入居者のベッドを短期入所生活介護又は介護予防短期入所生活介護に活用することに同意いただき利用した場合は、所定料金をご負担いただく必要はありません。

- ③ 日用品費(個人用のティッシュペーパー、歯ブラシ、歯磨き粉、個人の好みによるフェイスタオル、バスタオル等) 実費
- ④ 家電使用料 55円/日
- ⑤ クラブ活動費(クラブ活動に係る材料費) 実費
- ⑥ 日常生活管理費(貴重品の管理) 69円/日
- ⑦ 理美容サービス カット1,572円/回 シェービング 525円/回
- ⑧ その他の料金(コピー代) 白黒12円 カラー53円
通信費(はがき、切手、封筒等)、予防接種料等) 実費
- ⑨ 前各号に掲げるもののほか、施設サービスにおいて提供する便宜のうち、日常生活においても通常必要となるものに係る費用であって、入居者に負担させることが適当と認められるもの。

※ 利用料金の変更について(契約書第6条参照)
事業所は上記①から⑧に定める利用料について、経済状況の著しい変化その他やむを得ない事由がある場合、利用者に対して変更を行う日の2ヶ月前までに説明を行い当該利用料を相当額に変更します。

※日常生活管理費の詳細は、以下の通りです。

- 管理する金銭の形態：施設の指定する金融機関に預け入れている預金
- お預かりするもの：上記預貯金通帳と金融機関へ届け出た印鑑、有価証券、年金証書
- 保管管理者：施設長
- 出納方法：手続きの概要は以下の通りです。
 - ・預金の預け入れ及び引き出しが必要な場合、備え付けの届出書を保管管理者へ提出していただきます。
- 保管管理者は上記届け出の内容に従い、預金の預け入れ及び引き出しを行います。
 - ・保管管理者は出入金の都度、出入金記録を作成し、その写しを契約者へ交付します。
- ※行事、クラブ活動の詳細は、以下の通りです。
 - 契約者の希望によりレクリエーションやクラブ活動に参加していただくことができます。
 - 利用料金は材料費等の実費をいただきます。

【例】

①主なレクリエーション行事予定

	行事とその内容
1月	お正月(行事食によるお祝いの会) 初釜
4月	お花見(施設外に出かけます)
5月	さつき祭り
8月.9月	敬老会(演奏会を中心に敬老のお祝いをします) 盆踊り大会
12月	餅つき会、クリスマス会

②クラブ活動

書道、カラオケ、手工芸等(材料費等の実費をいただきます。)

③上記以外に、各ユニットで四季折々の行事(節分、ひな祭り、端午の節句、七夕祭り、クリスマス、鏡餅等)やお誕生日会を開催する予定です。

(3)契約書第19条に定める所定の料金

契約者が、契約終了後も居室を明け渡さない場合等に、本来の契約終了日から現実に居室が明け渡された日までの期間に係る料金(1日あたり)

契約者の要介護度	要介護度1	要介護度2	要介護度3	要介護度4	要介護度5
	6,966円	7,694円	8,463円	9,211円	9,928円

契約者が、要介護認定で自立又は要支援と判定された場合 6,000円

(4)利用料金のお支払い方法(契約書第5条参照)

前記(1)、(2)の料金・費用は、1か月ごとに計算し、翌月の15日にご請求しますので、請求月の20日までに以下のいずれかの方法でお支払い下さい。(1か月に満たない期間のサービスに関する利用料金は、利用日数に基づいて計算した金額とします。)

ア.窓口での現金支払

イ.金融機関口座からの自動引き落とし

ご利用できる金融機関：都市銀行、地方銀行、第二地方銀行、信託銀行、長期信用銀行、信用金庫、労働金庫、農業協同組合(一部を除く)、信用組合(一部を除く)、ゆうちょ銀行

(5)入居中の医療の提供について

医療を必要とする場合は、契約者の希望により、次の協力医療機関において診療や入院治療を受けることができます。(ただし、医療機関での優先的な診療・入院治療を保証するものではありません。また、医療機関での診療・入院治療を義務づけるものでもありません。)

①協力医療機関

医療機関の名称	医療法人和敬会寝屋川南病院
所在地	大阪府寝屋川市高柳一丁目1番17号
診療科	内科、小児科、消化器科、循環器科、放射線科、リハビリテーション科、アレルギー科
電話	072-827-1001

②協力歯科医療機関

医療機関の名称	医療法人 薫歯会 高槻ファミリー歯科
所在地	大阪府高槻市大塚町1丁目9番3号カインズモール高槻店1階
診療科	歯科
電話	072-662-0418

③協力精神科医療機関

医療機関の名称	医療法人 恭順会 のぞみクリニック 玉出院
所在地	大阪府西成区玉出西2-6-7 Rino玉出ビル3階
診療科	精神科
電話	06-6652-8300

6. 施設を退居していただく場合(契約の終了について)

当施設との契約では契約が終了する期日は特に定めていません。従って、以下のような事由がない限り、継続してサービスを利用することができますが、仮にこのような事項に該当するに至った場合には、当施設との契約は終了し、契約者に退居していただくこととなります。(契約書第13条参照)

①契約者が死亡した場合

②要介護認定により契約者の心身の状況が自立又は要支援と判定された場合及び要介護1・2に変更になり、特例入所の要件に該当すると認められない場合

③事業者が解散した場合、破産した場合又はやむを得ない事由により施設を閉鎖した場合

④施設の滅失や重大な毀損により、契約者に対するサービスの提供が不可能になった場合

⑤当施設が介護保険の指定を取り消された場合又は指定を辞退した場合

⑥契約者から退居の申し出があった場合(詳細は(1)をご参照ください。)

⑦事業者から退去の申し出があった場合(詳細は(2)を参照ください。)

(1)契約者からの退居の申し出(中途解約・契約解除)(契約書第14条、第15条参照)

契約の有効期間であっても、契約者は当施設からの退居を申し出ることができます。その場合には、契約終了を希望する日の7日前までに解約届出書をご提出ください。

ただし、以下の場合には、即時に契約を解約・解除し、施設を退居することができます。

- ①介護保険給付対象外サービスの利用料金の変更に同意できない場合
- ②契約者が入院された場合
- ③事業者もしくはサービス従事者が正当な理由なく本契約に定める地域密着型介護福祉施設サービスを実施しない場合
- ④事業者もしくはサービス従事者が契約書第8条に定める守秘義務に違反した場合
- ⑤事業者もしくはサービス従事者が故意又は過失により契約者の身体・財物・信用等を傷つけ、又は著しい不信行為、その他本契約を継続しがたい重大な事情が認められる場合
- ⑥他の入居者が契約者の身体・財物・信用等を傷つけた場合もしくは傷つける恐れがある場合において、事業者が適切な対応をとらない場合

(2)事業者からの申し出により退居していただく場合(事業者からの契約解除)(契約書第16条参照)

事業者は、契約者が以下の事項に該当する場合には、30日間以上の予告期間をもって本契約を解除することができます。

- ① 契約者が、契約締結時にその心身の状況及び病歴等の重要事項について、故意にこれを告げず、又は不実の告知を行い、その結果本契約を継続しがたい重大な事情を生じさせた場合
- ② 契約者による、サービス利用料金の支払いが6か月以上遅延し、相当期間を定めた催告にもかかわらずこれが支払われない場合
- ③ 契約者が、故意又は重大な過失により事業者又はサービス従事者もしくは他の入居者等の生命・身体・財物・信用等を傷つけ、又は著しい不信行為を行うことなどによって、本契約を継続しがたい重大な事情を生じさせた場合
- ④ 契約者が連続して3か月を超えて病院又は診療所に入院すると見込まれる場合もしくは入院した場合
- ⑤ 契約者が介護老人保健施設に入居した場合もしくは介護療養型医療施設に入院した場合

※契約者が病院等に入院された場合の対応について(契約書第18条参照)

当施設に入居中に、医療機関への入院の必要が生じた場合の対応は、以下の通りです。

①検査入院等、短期入院の場合

1ヵ月につき6日以内(複数の月にまたがる場合は12泊)の短期入院の場合は、退院後再び施設に入居することができます。ただし、入院期間中であっても、所定の料金(8ページ参照)をご負担いただきます。

②上記期間を超える入院の場合

上記短期入院の期間を超える入院については、3ヶ月以内に退院された場合には退院後再び施設に入居することができます。なお、入院期間中であっても、所定の料金(8ページ参照)をご負担いただきます。

③3ヶ月以内の退院が見込まれない場合

3ヶ月以内の退院が見込まれない場合には、契約を解除する場合があります。この場合には、当施設に再び優先的に入居することはできません。

(3)円滑な退居のための援助(契約書第17条参照)

契約者が当施設を退居する場合には、契約者の希望により、事業者は契約者の心身の状況、置かれている環境等を勘案し、円滑な退居のために必要な以下の援助を契約者に対して速やかに行います。

- 適切な病院もしくは診療所又は介護老人保健施設等の紹介
- 居宅介護支援事業者の紹介
- その他保健医療サービス又は福祉サービスの提供者の紹介

※ 契約者が退居後、在宅に戻られる場合には、その際の相談援助にかかる費用として退所前連携加算527円/日、退所前訪問相談援助加算485円/回、退所後訪問相談援助加算485円/回、退所時相談援助加算422円/日(介護保険から給付される費用の一部)をご負担いただきます。

7. 残置物引取人(契約書第20条参照)

契約締結に当り、身元引受人をお願いすることはありません。

ただし、入居契約が終了した後、当施設に残された契約者の所持品(残置物)を契約者自身が引き取れない場合に備えて、「残置物引取人」を定めていただくことがあります。当施設は、「残置物引取人」に連絡のうえ、残置物を引き取っていただきます。また、引渡しにかかる費用については、契約者又は残置物引取人にご負担いただきます。

※入居契約締結時に残置物引取人が定められない場合であっても、入居契約を締結することは可能です。

8. 苦情の受付について(契約書第22条参照)

(1) 当施設における苦情の受付

当施設における苦情やご相談は以下の専用窓口で受け付けます。

○ 苦情受付窓口(担当者)

[職名] 解決責任者 : 施設長 竹本 憲司
担当者 : 生活相談員 片岡 善美江

○ 受付時間 毎週月曜日～金曜 9:00～18:00

また、苦情受付ボックス(意見箱)を各階エレベーター前に設置しています。

(連絡先) 大阪府寝屋川市上神田一丁目31番1号
特別養護老人ホーム神田の里
Tel072-826-2800

苦情申出人が第三者委員への報告を希望する場合、匿名での苦情、及び文書による重大な指摘があった場合は、速やかに第三者委員に報告し必要な対応を行います。第三者委員に報告した場合は、必ず苦情申出人にご返答いたします。

第三者委員 川戸義泰、岡本昌代

(直接連絡を希望される場合は法人本部にご連絡ください。Tel072-828-0888)

(2) 行政機関その他苦情受付機関

寝屋川市保健福祉部 高齢介護室	所在地	大阪府寝屋川市池田西町24番5号
	電話番号	072-838-0372
	FAX番号	072-838-0102
	受付時間	(月～金)9時～17時30分
大阪府国民健康保険 団体連合会	所在地	大阪府大阪市中央区常盤町1丁目3番8号中央大通FNビル
	電話番号	06-6949-5418
	FAX番号	06-6949-5417
	受付時間	(月～金)9時～17時

9. 非常災害対策

非常時の対応は別途定める消防計画により対応します。

避難訓練及び防災設備点検は年3回以上実施いたします。避難訓練は夜間を想定した総合訓練と検証訓練を実施いたします。

防災設備

設備名称	個数等	設備名称	個数等
スプリンクラー	1式	避難階段	2カ所
自動火災報知機	1式	誘導灯	1式

※防火管理者:竹本憲司

10. 緊急時等の対応

- 施設は、現にサービスの提供を行っている時に契約者に病状の急変が生じた場合その他必要な場合は、速やかに主治の医者又はあらかじめ事業所が定めた協力医療機関への連絡を行うとともに必要な措置を講じます。
- 緊急時の対応(心肺停止状態を含む)
施設は、契約者が心肺停止状態等になった場合、心臓マッサージ及びAEDによる除細動等必要な心肺蘇生法を行い119番通報により救急搬送を行います

11. 事故発生時の対応

- 施設は、契約者に対するサービスの提供により事故が発生した場合は、速やかに市町村、契約者の家族等に連絡を行うとともに、必要な措置を講じます。
- 施設は、契約者に対するサービスの提供により賠償すべき事故が発生した場合は、損害賠償を速やかに行うものとします。

12. 重要事項説明書付属文書

① 施設の概要

- (1)建物の構造 重量鉄骨造 地上4階
- (2)建物の延べ床面積 1,276.04㎡
- (3)施設の周辺環境 寝屋川市西方の静かな市街地に位置する。周辺には田園風景が残り昔懐かしい風情も残っている地域です。公園、小学校、幼稚園等も点在しています。京阪電車寝屋川市駅から徒歩約20分、京阪電車萱島駅から徒歩約15分、旧国道1号線仁和寺交差点・新宝町交差点・池田新町交差点・菅原神社前交差点よりいずれも約10分です。

② 職員の配置状況

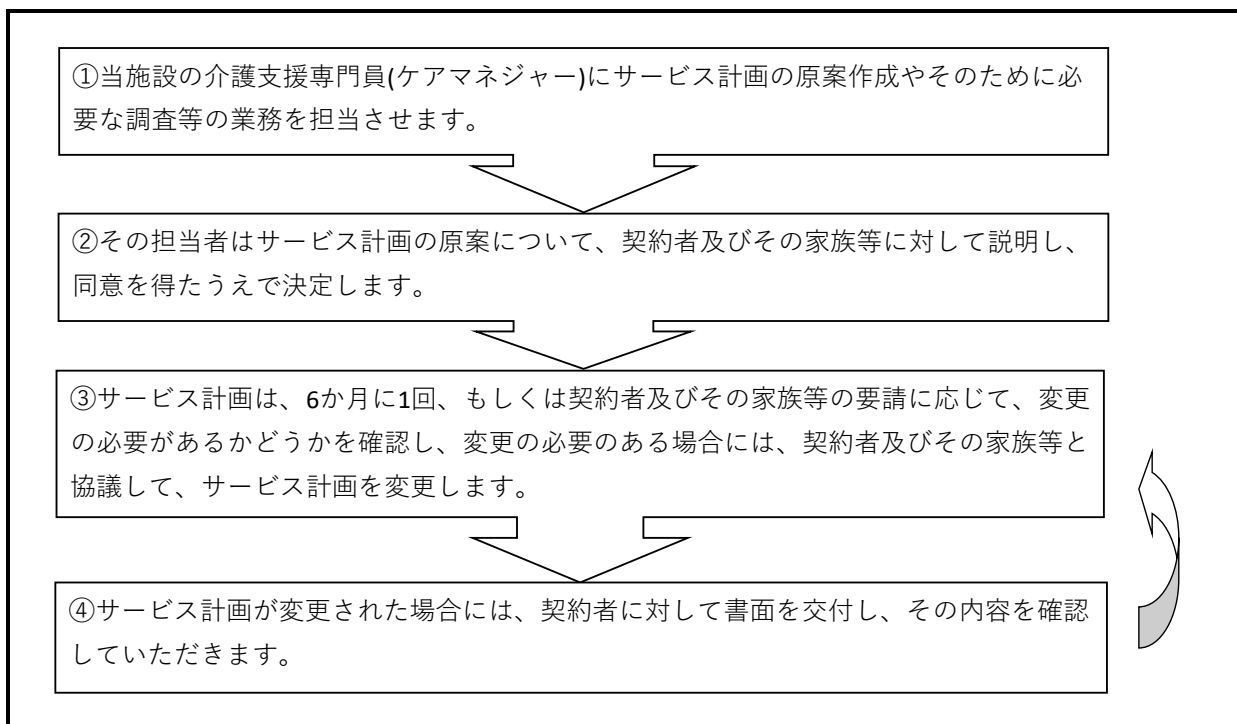
<配置職員の職種>

介護職員	契約者の日常生活上の介護並びに健康保持のための相談・助言等を行います。3名の入居者に対して1名以上の介護職員を配置しています。
生活相談員	契約者の日常生活上の相談に応じ、適宜生活支援を行います。1名の生活指導員を配置しています。
看護職員	主に契約者の健康管理や療養上の世話をしますが、日常生活上の介護、介助等も行います。1名の看護職員を配置しています。
機能訓練指導員	契約者の機能訓練を担当します。1名の機能訓練指導員を配置しています。
介護支援専門員	契約者に係る地域密着型介護福祉施設サービス計画(ケアプラン)を作成します。生活相談員、看護職員、介護職員が兼ねる場合もあります。1名の介護支援専門員を配置しています。
医師	契約者に対して健康管理及び療養上の指導を行います。1週間に2度診察にまいります。
栄養士	給食の管理、入居者の栄養指導を行います。

③ 契約締結からサービス提供までの流れ

契約者に対する具体的なサービス内容やサービス提供方針については、入居後作成する「地域密着型介護福祉施設サービス計画(ケアプラン)」(以下「サービス計画」という。)に定めます。

「サービス計画(ケアプラン)」の作成及びその変更は次の通り行います。(契約書第2条参照)



④ サービス提供における事業者の義務(契約書第7条、第8条参照)

当施設は、契約者に対してサービスを提供するにあたって、次のことを守ります。

- ①事業者及びサービス従事者は、サービスの提供にあたって、契約者の生命、身体、財産の安全・確保に配慮するものとします。
- ②事業者は、契約者の体調・健康状態からみて必要な場合には、医師又は看護職員と連携し、契約者から必要事項について聴取・確認のうえでサービスを実施するものとします。
- ③事業者は、契約者が受けている要介護認定の有効期間の30日前までに、要介護認定の更新の申請の援助を行うものとします。
- ④事業者は、契約者に対するサービスの提供について記録を作成し、それを完結の日から2年間保管し、契約者もしくはその代理人の請求に応じてこれを閲覧させ、複写物を交付するものとします。
- ⑤事業者は、契約者又は他の契約者等の生命又は身体を保護するため緊急やむを得ない場合を除き、契約者に対し隔離、身体的拘束、薬剤投与その他の方法により契約者の行動を制限しません。事業者が契約者に対し隔離、身体的拘束、薬剤投与その他の方法により契約者の行動を制限する場合は、契約者に対し事前に、行動制限の根拠、内容、見込まれる期間について十分説明します。また、この場合事業者は、事前又は事後速やかに、契約者の後見人又は契約者の家族に対し、契約者に対する行動制限の根拠、内容、見込まれる期間について十分説明します。事業者が契約者に対し隔離、身体的拘束、薬剤投与その他の方法により契約者の行動を制限した場合には、前項の地域密着型介護福祉施設サービスの提供に関する記録に次の事項を記載します。
 - 一、契約者に対する行動制限を決定した者の氏名、行動制限の根拠、内容、見込まれる期間及び実施された期間
 - 二、前項に基づく契約者に対する説明の時期及び内容、その際のやりとりの概要
 - 三、前項に基づく契約者の後見人又は契約者の家族に対する説明の時期及び内容、その際のやりとりの概要

- ⑥事業者は「高齢者虐待の防止、高齢者の養護者に対する支援等に関する法律」（以下、「高齢者虐待防止法」という。）の規定を遵守し、サービス従事者又は従業員による虐待が行われないようにします。
- ⑦事業者及びサービス従事者又は従業員は、サービスを提供するうえで知り得た契約者又は家族等に関する秘密を正当な理由なく第三者に漏洩しません。この守秘義務は、本契約が終了した後も継続します。
- ただし、契約者に医療上、緊急の必要性がある場合には、医療機関等に契約者の心身等の情報を提供できるものとします。また、契約者の円滑な退居のための援助を行う際には、あらかじめ文書で、契約者の同意を得ます。
- 事業者及びサービス従事者又は従業員は高齢者虐待防止法に定める通報をなすことができるものとし、その場合、秘密保持義務違反の責任を負わないものとします。

⑤施設利用の留意事項

当施設のご利用にあたって、施設入居者の共同生活の場としての快適性、安全性を確保するため、下記の事項をお守り下さい。

(1) 持ち込みの制限

入居に当り、以下のもの以外は原則として持ち込むことができません。

テレビ、家電(冷蔵庫、掃除機、大型の家電を除く)、電気髭剃機、時計、洗面用具、書籍、文房具、小型家具一点(高さ50cm以内、幅50cm以内、奥行90cm以内)、ゴミ箱、雑貨類(大型のものを除く)、衣類

(2) 面会

面会時間 9:00~18:00

※来訪者は、必ずその都度職員に届け出てください。

※来訪される場合、食中毒防止のため生もの等の腐りやすい食品の持ち込みはご遠慮ください。

(3) 外出・外泊(契約書第21条参照)

外出、外泊をされる場合は、3日前までにお申し出下さい。

(4) 食事

食事が不要な場合は、前日までにお申し出下さい。前日までに申し出があった場合には、重要事項説明書5(2)に定める「食事の提供に要する費用」(第1段階300円、第2段階390円、第三段階650円、第4段階1,543円)は減免されます。

(5) 施設・設備の使用上の注意(契約書第9条参照)

○契約者は、居室及び共用施設、敷地をその本来の用途に従って利用してください。

○契約者は、施設、設備について、故意に、又はわずかな注意を払えば避けられたにもかかわらず、施設、設備を壊したり、汚したりした場合には、契約者に自己負担により原状に復していただくか、又は相当の代価をお支払いいただく場合があります。

○契約者は、サービスの実施及び安全衛生等の管理上の必要があると認められる場合には、事業者及びサービス従事者が契約者の居室内に立ち入り、必要な措置をとることを認めるものとします。ただし、その場合、事業者は、契約者のプライバシー等の保護について、十分な配慮をするものとします。

○契約者は、施設内及び敷地内での営利行為、宗教等への勧誘、政治活動、秩序風俗を乱す行為は行わないものとします。

○契約者の心身の状況等により特段の配慮が必要な場合には、契約者及びその家族等と事業者との協議により、居室又は共用施設、設備の利用方法等を決定するものとします。

(6)喫煙

敷地内の喫煙スペース以外での喫煙はできません。

⑥損害賠償について(契約書第10条、第11条参照)

- 1、事業者は、本契約に基づくサービスの実施に伴って、自己の責に帰すべき事由により契約者に生じた損害について賠償する責任を負います。契約書第8条に定める守秘義務に違反した場合も同様とします。ただし、契約者に故意又は過失が認められる場合には、契約者の置かれた心身の状況を斟酌して相当と認められる時に限り、損害賠償額を減じることができるものとします。
- 2、事業者は、前項の損害賠償責任を速やかに履行するものとします。
- 3、事業者は、自己の責に帰すべき事由がない限り、損害賠償責任を負いません。とりわけ以下の各号に該当する場合には、事業者は損害賠償責任を免れます。
 - (1)契約者が、契約締結時にその心身の状況及び病歴等の重要事項について、故意にこれを告げず、又は不実の告知を行ったことにもっぱら起因して損害が発生した場合
 - (2)契約者が、サービスの実施にあたって必要な事項に関する聴取・確認に対して故意にこれを告げず、又は不実の告知を行ったことにもっぱら起因して損害が発生した場合
 - (3)契約者の急激な体調の変化等、事業者の実施したサービスを原因としない事由にもっぱら起因して損害が発生した場合
 - (4)契約者が、事業者もしくはサービス従事者の指示・依頼に反して行った行為にもっぱら起因して損害が発生した場合
13. 提供するサービスの第三者評価の実地状況について
当施設では、第三者評価の実地は行っておりません。

令和 年 月 日

サービスの提供の開始に際し、本書面に基づき重要事項の説明を行いました。

特別養護老人ホーム神田の里

説明者 職名 氏名

私は、本書面に基づいて事業者から重要事項の説明を受け確認しました。

契約者 住所 〒

氏名

家族等 住所 〒

氏名

代理人 住所 〒

氏名

続柄 ()

